



福島医発第 858 号 (地)

令和 3 年 6 月 15 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻一良
(公 印 省 略)

ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

ファイザー社ワクチンの基本型から連携型及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時に使用する冷蔵移送用保冷バッグについては、厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設に配布されているところです。

今般、厚生労働省より日本医師会を通じて、夏季季節を迎えるにあたって、同保冷バッグの使用方法が変更された旨、連絡がありました。

本件は、移送前のアルミ内箱（バイアルホルダー入）の冷蔵庫（2～8℃）における予冷が追加されたことをお知らせするものです。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、貴会会員への周知方につきよろしくお願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 橋本朋也
会長 島田昇二郎

(健Ⅱ130F)
令和3年6月2日

都道府県医師会
感染症危機管理担当理事 殿

日本医師会感染症危機管理対策室長
釜 菫 敏

ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

ファイザー社ワクチンの基本型から連携型及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時に使用する冷蔵移送用保冷バッグについては、厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設に配布されているところです。

今般、厚生労働省より、夏季季節を迎えるにあたって、同保冷バッグの使用方法が変更されたことについて、各都道府県衛生主管部（局）宛て事務連絡がありましたのでご連絡申し上げます。

移送前のアルミ内箱（バイアルホルダー入）の冷蔵庫（2～8℃）における予冷が追加されております。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了知のうえ、郡市区医師会および関係医療機関に対する情報提供についてご高配のほどお願い申し上げます。

事 務 連 絡
令和 3 年 6 月 1 日

各都道府県 衛生主管部（局） 御中

厚生労働省健康局健康課予防接種室

ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグ使用方法の変更について

「新型コロナウイルスワクチン接種に係る冷凍ワクチンの冷蔵移送について（令和 3 年 2 月 10 日付け事務連絡）」において、ファイザー社のワクチンを基本型接種施設から連携型接種施設及びサテライト型接種施設への移送時、または、巡回接種時の持ち運び時に使用する冷蔵移送用保冷バッグを原則、基本型接種施設及び責任医師を決めて、市町村が管理する場所に厚生労働省から供給されるディープフリーザーを設置する施設（以下「基本型接種施設等」という。）に配布してきたところです。

今般、夏季季節を迎えるにあたって、別添のとおり、ワクチン冷蔵移送に係る保冷バッグの使用方法を変更することとします。

つきましては、貴管下関係機関等への周知をお願いいたします。

保冷バッグの構成

(外気温35℃環境下で8℃以下を12時間保持)

①外装

素 材：ターポリン生地

寸 法：W358×D300×H295mm

内包部分

素 材：発泡スチロール（EPS容器）

板 厚：約45-50mm

①



保冷バッグ
使用方法を貼付



②アルミ内箱

寸 法：W207×D148×H59mm

②

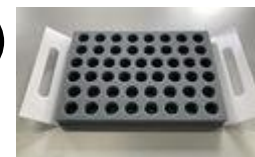


③バイアルホルダー

寸 法：W204×D145×H48mm

※50本収納可能（バイアル寸：16.25φ×H31mm）

③



④保冷剤（3℃融点保冷剤） 4 枚

充填量：480g×4枚＝1,920g

寸 法：W220×D140×H22mm（1枚分）

④



保冷バッグの使用方法

(1) 前日の準備(移送開始12時間以上前) :

- ①冷凍庫 (約 -20°C) に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。
- ②冷蔵庫 (2 $\sim$ 8 $^{\circ}\text{C}$) に、**バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。**



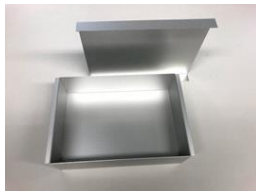
(2) 移送**30分前**(時間厳守) : **必ず実施のこと**(バイアル再凍結を防止)
冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、**常温環境(15 $^{\circ}\text{C}$ ~25 $^{\circ}\text{C}$)に置いておく。**

(3) 移送直前 : 以下の手順でセッティングを行う。

- ①保冷剤 1 枚を保冷バッグの床面に置く。
- ②冷蔵庫からアルミ内箱 (バイアルホルダー入) を取り出して、
①の保冷剤の上に置く。
- ③アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをディープフリーザーから
バイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。
- ④保冷剤 2 枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。
- ⑤上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤 1 枚を置く。
- ⑥発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バックの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー
(バイアルはダミー)



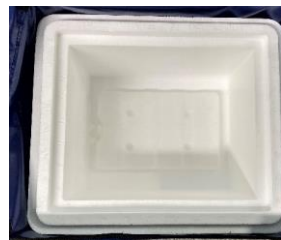
保 冷 剤
(3 $^{\circ}\text{C}$ 融点保冷剤)



前日の準備



移送30分前



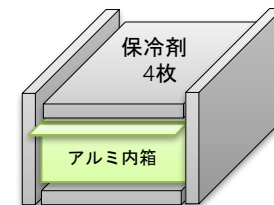
①



④



⑤



保冷バッグの使用方法

(1) 前日の準備(移送開始12時間以上前) :

- ①冷凍庫 (約 -20°C) に保冷剤4枚を投入し、凍結させる。
- ②冷蔵庫 ($2\sim 8^{\circ}\text{C}$) に、バイアルホルダーを中にセットし上蓋を閉めたアルミ内箱を投入し、予冷する。



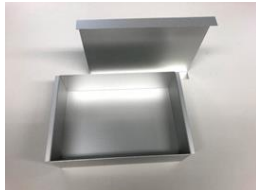
(2) 移送**30分前**(時間厳守) : **必ず実施のこと**(バイアル再凍結を防止)
冷凍庫から、保冷剤4枚を取り出して、**常温環境($15^{\circ}\text{C}\sim 25^{\circ}\text{C}$)に置いておく。**

(3) 移送直前 : 以下の手順でセッティングを行う。

- ①保冷剤 1 枚を保冷バッグの床面に置く。
- ②冷蔵庫からアルミ内箱 (バイアルホルダー入) を取り出して、
①の保冷剤の上に置く。
- ③アルミ内箱の上蓋を開けて、ワクチンをディープフリーザーからバイアルホルダーへ速やかに移し、アルミ内箱の上蓋を閉める。
- ④保冷剤 2 枚をアルミ内箱の両脇に差し込む。
- ⑤上蓋を閉めたアルミ内箱の上に最後の保冷剤 1 枚を置く。
- ⑥発砲スチロールの蓋を閉め、保冷バックの蓋を閉める。



保冷バッグ



アルミ内箱



バイアルホルダー
(バイアルはダミー)



保 冷 剤
(3°C 融点保冷剤)

参 考

変更部分に
アンダーラインを
入れたもの



移送30分前



①



④



⑤

